

「伝統行事の魅力伝える 虫と火まつり大使五所川原市役所へ」



奥津軽虫と火まつりをPRした親善大使のメンバーら

伝統行事の魅力伝える

虫と火まつり大使五所川原市役所へ

認定校生徒ら意気込み

五所川原青年会議所（坂本興平理事長）主催の「第46回奥津軽虫と火まつり」（16日開催）をPRする親善大使が7日、五所川原市役所を訪れ、意気込みを語った。親善大使活動は後継者不足となっている祭りへの理解と若者の参加を促そうと2012年から毎年実施している。

今年には五所川原農林高校、五所川原商業高校、五所川原工業高校、五所川原第一高校、青森職業能力開発短期大の5校が大使認定校に選ばれ、生徒、学生らが祭りで使用する「虫おくり」を小学校で読み聞かせるなどしてPRを図っている。7日は坂本理事長らとともに6人の親善大使が市役所を訪れ、三上裕行副市長に活動報告。五所商高の成田麗菜さん（3年）と石岡みうさん（同）は「児童に分かりやすいように読み聞かせを行った。伝統行事の素晴らしさを伝えられたと思う」、五所一高の鳴海来都さん（2年）は「少しでも自分が役に

立てればと思って頑張った」と、それぞれ意気込みを語った。

（松田基継）

※この画像（記事）は、陸奥新報社提供です。無断転載はできません。